

埼玉医科大学病院ニュース

第75号



ゆい

患者さんと医療者を結ぶ情報誌

CONTENTS

ページ 2

座右の銘

医師として大切にしていること

脳神経内科・脳卒中内科 診療部長

山元 敏正

ページ 3

こんな症状ありませんか？

ページ 4・5

私たちが大切にしていること

わたしの専門

ページ 6・7

アスリート通信

埼玉医科大学グループアスリートクラブ

ページ 8

将来のために

ページ 9

スマート会計

ページ 10

基本理念

毛呂山町「オンライン学習」のご案内

患者さんから選ばれる病院を目指し病院ニュースをリニューアルしました。名前も「ゆい」としました。患者さんと医療者を結ぶという意味を込めています。医療は患者さんと医療者との相互理解と信頼により成り立ちます。病院ニュースを、患者さんと医療者を結ぶ情報提供の一助としてご利用いただければ幸いです。



合言葉は
あなたの幸せが
私たちの幸せです

Your
HAPPINESS
Is Our
HAPPINESS



医師として大切にしていること

私の医師としてのキャリアは今年で約40年になりますが、これまで多くのことを患者さんから学んできました。患者さんの診療で大事なことは、知識と経験はもちろんのこと、病に苦しんでいる患者さんの気持ちを理解することであると考えています。病気には未だ完治は難しいものもあり、病気と付き合いながら生活されている方は沢山おられます。また患者さんは、同じ病気であっても、症状の軽いヒトから重いヒトまで、年齢も違えば、職業や家庭環境も異なり、考え方も様々です。我々医師が患者さん一人ひとりの特徴を観察・理解し、彼らの心に寄り添うことが患者満足度の高い医療の提供につながると考えています。

診療面において、大学病院で働く我々の使命は地域の医療機関からの紹介により来院される患者さんに対して、最先端の専門知識と検査機器をフルに活用し、病気に関する様々な問題点を可能な限り解決することです。そのために、私は症状や病気によっては診療科の垣根を越えて他科の先生にご相談し、チーム医療の実践を心がけています。埼玉医科大学の理念は“良き臨床医の育成”であり、私はとくに人間性と臨床能力の高い医師の育成に力を注いでいます。いつも患者目線で診療にあたること、また質の高い医療を患者さんに提供するには、医学だけではなく何事に対しても日々、継続して学ぶことは大切であり、私の座右の銘である“継続は力なり”という言葉を目撃者が実践してくれるように教育しています。

病気を治すことだけが医師の仕事ではありません。これからも患者第一主義の医療を実践し、患者さんから「先生の診察を受けると元気になれる」とか「先生の次の診察を楽しみに頑張ります」と言って下さるような診療を日々実践していきたいと思っています。

座右の銘

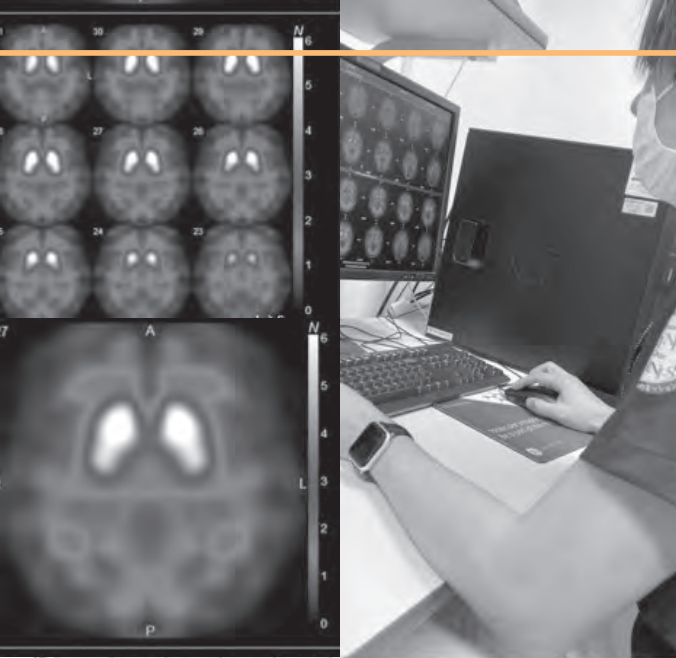
継続は力なり

脳神経内科・脳卒中内科 診療部長

やまもと としまさ
山元 敏正

プロフィール

宮崎県出身、
埼玉医科大学医学部、
日本神経学会専門医、
日本頭痛学会専門医



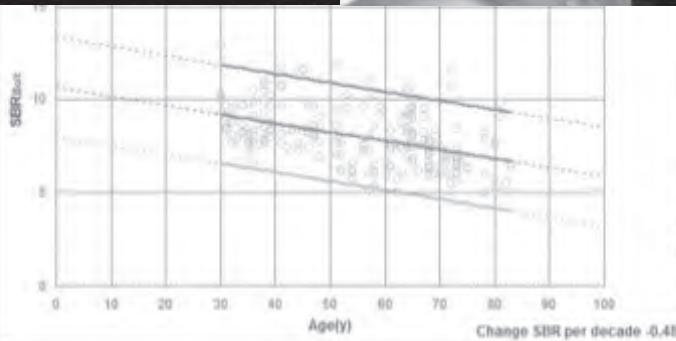
こんな症状ありませんか？

手足がふるえたり、動作が鈍くなったり、転びやすくなったりして、悩んでいませんか？

中年以降になると手足のふるえや動作が鈍くなったりするなどの運動障害が出現する進行性の病気に、パーキンソン病やパーキンソン症候群などがあります。神経診察に加えて、脳MRI検査や、脳や心臓の核医学検査を行うことにより診断します。薬物治療が中心ですが、進行期のパーキンソン病患者にはL-ドパ持続経腸療法や脳神経外科に依頼して脳深部刺激療法などを実施しています。

パーキンソン病外来；

山元教授、川崎助教、瀬尾助教、横山助教ほか



長年にわたる頭痛や気候に影響される頭痛、あるいは急に出現した激しい頭痛などで悩んでいませんか？

一生のうち一度も頭痛を経験しない人はいないほど、頭痛は最もありふれた症状の一つですが、頭痛が長引く場合や突然の激しい頭痛を認める場合には診察を受けてください。頭痛には、頭痛自体が疾患である緊張型頭痛や片頭痛などの一次性頭痛と、くも膜下出血や急性髄膜炎などによる二次性頭痛に分けることができます。問診や検査などにより頭痛の原因を正しく診断し、治療していきます。

頭痛外来；山元教授、伊藤准教授、光藤助教、岡田助教ほか

	Right	Left	Ave.	A.I.
SBR _{BoIt}	17.19	17.19	17.19	0.0%
Z-score	+6.99	+6.99	+6.99	
Database(60y) Ave. = 7.78 S.D. = 1.35				
Analysis Parameters				
Slab : 17 - 37	Threshold : 30 %			
Thickness : 47.25 mm	Inwards : 10 mm			
ROI-R : 62.41	Striatal Volume : R: 11.2 mL			
ROI-L : 65.41	: L: 11.2 mL			
	B.G. : 57.90			
Processing : Phantom (y = 1.35x - 0.68)				

物忘れがひどくなったり、見えないはずものが見えるようになったりして、悩んでいませんか？

高齢化とともに認知症の患者さんは増えてきています。物忘れが目立つ場合にはアルツハイマー病の可能性が高く、見えないはずものが見えたり（幻視）、動作が鈍くなるとレビー小体型認知症が疑われます。この他にも、徐々に認知機能が低下する脳血管性認知症や正常圧水頭症、また急速に進行するプリオン病、脳炎などがあります。いずれにせよ、認知機能低下を認める場合には早期診断と早期治療が大事になってきます。

物忘れ外来；山元教授、中里教授、伊藤准教授、瀬尾助教ほか



手足のしびれや、顔や体のしびれに悩んでいませんか？

手足のしびれ、時に顔や体のしびれを感じる患者さんは沢山おられると思います。しびれの原因として脳、脊髄、末梢神経の障害などが考えられます。しびれに運動麻痺を伴うこともあります。問診と神経学的診察、血液検査、電気生理学的検査、MRI検査などにより原因を調べます。

しびれ外来；伊藤准教授、岡田助教、川崎助教、大田助教ほか

立ち眩みや失神、汗が出にくいなどの症状に悩んでいませんか？

自律神経の障害により、立ち眩みを認めたり、ときに失神してしまう神経の病気があります。これにてんかんなどが隠れている場合もあります。自律神経機能検査や脳波などを施行して診断し、治療に結びつけます。

立ち眩み・失神外来；

山元教授、中里教授、光藤助教、大田助教

私たちが大切に していること

患者さんに最善の治療を提供
するように努めています。

脳神経内科では様々な疾患を対象としていますが、治療法はどの領域においても目覚ましく進歩しています。当科は患者さんのご希望をよく聞いて、最善・最新の治療をおこなっています。

患者さんに最善の医療を提供するように努めています。

当科には近隣はもとより県内外の遠方から多くの患者さんが来院されています。これらの患者さんに対して最先端かつ最良の医療を提供し、そして患者さんのご家族からも信頼して頂けるように努めています。

脳神経内科では、急性から亜急性の経過をたどる病気や数カ月から年余に渡って進行する病気など様々な疾患を対象としています。神経疾患の正確な診断には、患者さんの病状や病気の経過を細かくお聞きすることが重要ですので、とくに初診の患者さんの診察には時間をかけて丁寧におこなっています。神経疾患に対する治療法は目覚ましく進歩しており、当科では患者さんのご希望をよく聞いて、最善・最新の治療を実施しています。また当教室では、将来、患者さんの診断や治療に貢献し、多くの医療関係者に認めていただけるような臨床研究を教室単独、あるいは他の大学病院と協力しておこなっています。

患者さんに最良の医療を提供するように努めています。

当科は臨床能力の高い医師が揃っていますので、頭痛や変性疾患、免疫疾患、脳血管障害やてんかんなど幅広い領域の病気に対応できます。都内の大学病院とも密接な病診連携をおこなっていますので、様々な情報提供ができます。安心して当科の外来を受診してください。

こんな症状は私たちが診察します

手足がふるえる、 動作が鈍い	山元 敏正	川崎 一史	瀬尾 和秀	大田 一路	横山 立
頭が痛い	山元 敏正	伊藤 康男	光藤 尚	岡田 真里子	
物忘れ	山元 敏正	中里 良彦	伊藤 康男	瀬尾 和秀	
手足がしびれる	伊藤 康男	岡田 真里子	川崎 一史	大田 一路	
立ちくらみ、汗がでない	山元 敏正	中里 良彦	光藤 尚	大田 一路	
けいれん	中里 良彦	岡田 真里子	川崎 一史	瀬尾 和秀	
呂律が回らない、 手足の力が入らない	山元 敏正	中里 良彦	伊藤 康男	光藤 尚	横山 立

わたしの専門



山元 敏正（やまもと としまさ） 診療部長

教授，専門分野：パーキンソン病、起立性低血圧などの自律神経疾患、頭痛、認知症

資格：日本神経学会専門医、日本頭痛学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本老年医学会専門医、日本内科学会総合内科専門医など

パーキンソン病、起立性低血圧などの自律神経疾患、頭痛、認知症に対して生活指導や薬物療法をおこなっています。病気でお困りのことがあれば、気軽にご相談ください。



中里 良彦（なかざと よしひこ） 診療副部長

教授，専門分野：発汗障害、頭痛、認知症、髄膜炎・脳炎

資格：日本神経学会専門医、日本頭痛学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本老年医学会専門医、日本内科学会総合内科専門医など

神経疾患一般に幅広く対応いたしますが、全身に汗が出ない、逆に汗が多くて困るといった発汗障害を専門にしています。



伊藤 康男（いとう やすお） 外来医長

准教授，専門分野：頭痛、認知症、脳卒中

資格：日本神経学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本頭痛学会専門医、日本認知症学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医

頭が痛い、物忘れがする、呂律が回らない、手足に力がはいらない、などの症状がある方を診療しております。そのような症状でお困りの方はお気軽にご相談ください。



光藤 尚（みつふじ たかし） 医局長 病棟医長

助教，専門分野：頭痛、起立性調節障害、脳卒中

資格：日本頭痛学会頭痛専門医、国際頭痛学会 International Headache Master、日本内科学会認定内科医・指導医、臨床研修指導医

片頭痛だけでなく、脳脊髄液減少症（低髄液圧による頭痛）や起立性調節障害などの頭痛疾患を中心に診療をおこなっています。特に脳脊髄液減少症の診療は放射線科などと連携して診療しています。脳卒中療養相談士として脳卒中患者さんの不安や悩みの解決にも努めて参ります。



岡田 真里子（おかだ まりこ）

助教，専門分野：臨床神経

資格：日本神経学会専門医、日本内科学会認定内科医

めまい、ふらつき、頭痛、手足のしびれなどの日常生活でよく遭遇する症状から、手足が動きにくい、話しにくい、けいれんするなどの専門的な症状まで、可能な範囲でお力になれるよう真摯に対応させていただきます。お困りの症状がある方はご相談してください。



川崎 一史（かわさき ひとし）

助教，資格：内科認定医、日本神経学会専門医

脳神経内科は脳や脊髄などの中枢神経や手足に分布する末梢神経の障害をみる科になります。脳梗塞などの脳血管障害やパーキンソン病や認知症などの神経変性疾患が代表的な病気です。神経の障害では、力がはいらない、呂律がまわらない、しびれ、ふるえ、頭痛、物忘れなど様々な症状を引き起こします。これらの症状でお困りの方は、お気軽にご相談ください。

アスリート通信

埼玉医科大学グループ

アスリートクラブ

ニューイヤー駅伝

2年ぶり2度目出場権獲得

埼玉医大グループ男子駅伝部

東日本実業団駅伝で12位！

埼玉医科大学アスリートクラブ
(<http://www.smu-athlete.jp>)

第63回東日本実業団駅伝競走大会が、11月3日(木・文化の日)、埼玉県庁から熊谷スポーツ文化公園陸上競技場までの7区間76.9kmのコースで行われました。

前回13位で、惜しくもニューイヤー駅伝出場を逃した埼玉医科大学グループ男子駅伝部は、各区堅実な走りで見事12位に入り、2年ぶり2度目のニューイヤー駅伝出場権を手に入れました。

レースは、1区序盤、互いをけん制するようにスローペース。しかし10kmを通過したところから上位陣がスパート。ルーキー吉田光汰選手はこれに食らいつき、トップと僅か14秒差の11位でたすき渡し。世界トップクラスの選手が揃う2区のワールド区間では、ワンブア・タイタス選手が健闘。総合13位で3区へ。最も距離が長いエース区間の3区では、やはり国内のトップ選手が群雄割拠する中、内田健太選手が踏ん張って総合13位。4区は、昨年アンカーで12位まで僅か17秒と迫りながら悔し涙を飲んだ畝歩夢選手が力走、一時1分以上あった12位との差を27秒にまで縮めると、5区長山瑞希選手が遂に前走を抜き去りニューイヤー出場権内の12位に。6区の松井尚希選手もルー

キーながら安定した走りで後続を突き放すと、逆に11位まで44秒と迫ります。アンカーの7区もルーキーの木樽杏祐選手。応援の声に時折手を上げて応える新人らしからぬ堂々区間6位の走りで、11位に12秒まで迫ってフィニッシュ。

ニューイヤー駅伝本番でのさらなる飛躍を確信させる7人の走りでした。

2023年元旦、2度目の挑戦となる埼玉医大グループ男子駅伝部にどうぞ熱い応援をお願いいたします。





1区 吉田光汰



2区 ワンブア・タイタス



3区 内田健太



4区 岐歩夢



5区 長山瑞季



6区 松井尚希



7区 木樽杏祐

テレビ放送情報

2023年1月1日 午前8時30分より
TBS 系列フルネット生放送

応援よろしく
お願いします



将来の夢のために

10月31日から11月2日に、県内公立高校の1年生2名が3年ぶりにインターンシップ（就業体験）を行いました。将来、医療現場で働きたいと希望を胸に3日間をすごしました。

就業体験を通して、コミュニケーションの大切さ、業務に対する責任感、患者さんからの感謝の言葉をいただき、今後の進路に繋がる貴重な体験を行う事ができました。



掲載については学校の許可を得ています。

ワゴン販売サービスのお知らせ

10:00~12:00

※各病棟に到着しましたら、アナウンス致します。
※お支払いは現金のみとなります。

各病棟デイルーム
にて販売しております。

販売スケジュール	月	火	水	木	金	土
本館、西館、東館	●		●		●	
南館		●		●		●

5号館売店(株)ウエルフェア

年中
無休

平日・土曜 8:30-18:00
日曜・祝日 11:00-17:00
TEL049-276-1571 (内2598)



埼玉医科大学病院「後払いクレジットサービスのご案内」

会計の待ち時間をゼロに!

待たずにラクへだ®

スマート 会計



1

受付



スマート会計専用受付機でエントリー。
『★ご利用票★』が発行されますので忘れずにお受け取りください。

2

診察



従来通り診察・検査へ。終了後、外来や検査室で会計ファイルを受け取ります。

3

帰宅



会計ファイル、『★ご利用票★』をスマート会計窓口へ提出、処方箋・予約票などを受け取り、会計を待たずにそのまま帰宅できます。

本サービスのご利用には事前登録(無料)が必要です。

診察前のご登録で、本日の会計からご利用いただけます。

スマート会計ご利用登録サイト

<https://s6.medicalpay.jp/saitama/new/>



※ご登録から完了まで、安全のためご自身の接続環境に切り替えてください(wi-fiオフ等)

◇クレジットカードは現在お使いのカード(右記5ブランド)をご利用いただけます。
◇外来・入院どちらのお会計でもご利用いただけます。



—基本理念— 当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

病院の基本方針

1. すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
2. 安心で質の高い医療を実践します。
3. まわりの医療機関と協力し合います。
4. 高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
5. より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

患者さんの権利

1. ひとりひとりが大切にされる権利
2. 安心で質の高い医療を受ける権利

3. ご自分の希望を述べる権利

4. 納得できるまで説明を聞く権利
5. 医療内容をご自分で決める権利
6. プライバシーが守られる権利

小児患者さんの権利

1. こどもが最善の治療を受けて生きる権利
2. こどもが暴力から守られる権利
3. こどもが能力を十分に伸ばせるような医療を受ける権利
4. こどもが自分の診療について自由に意見を述べる権利

毛呂山町 「オンライン学習」のご案内

～入院・通院している小・中学生の皆さんへ～

毛呂山町では、「学びの継続」事業として、毛呂山町の町立小中学校に在学している児童生徒に対してオンライン授業の提供を行っております。また、町外の小中学校等に在学している児童生徒についても、教育センターから自主学習に対応したオンラインのドリル等の提供を行っております。

1. 対象者

- ①毛呂山町の町立小中学校に在学している児童生徒
- ②上記以外で自主学習が可能な児童生徒

2. 提供内容

- ①毛呂山町の町立小中学校に在学している児童生徒については、在学している学校からのオンライン授業の実施、状況に応じてオンラインのドリルの提供
- ②上記以外で自主学習が可能な児童生徒については、教育センターとオンラインでやりとりを行い、オンラインのドリルの提供など

3. 申請手続きについて

- ◆申請場所 毛呂山町教育センター、(対象者①については、在学している学校)
- ◆受付期間 申請は随時受け付けます
- ◆申請に必要なもの 毛呂山町「学びの継続」事業申請書 ※メールでお送りください



4. その他

- ◆病院内で受講する場合については、ヘッドセットの着用など周囲に迷惑がかからないよう配慮をお願いいたします。(病院内のルールを守って実施してください。)
- ◆学習に必要なパソコンやタブレットの管理については、児童および保護者の責任において管理をしてください。
- ◆通信については、病院内のWi-Fiもしくはご自分でご用意いただいた通信機器においてご利用ください。
- ◆モバイルルーター本体の貸し出しも可能ですが、SIMなどの通信契約は、利用者が行う必要があります。詳しくは、問い合わせ先にご連絡ください。

申請・問合せ先 毛呂山町教育委員会 教育センター

〒350-0451 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷7-4

TEL : 049-295-0622 メールアドレス : ksenter@town.moroyama.lg.jp

表紙：中央放射線部 診療放射線技師、
第一種作業環境測定士（放射性物質）
宮崎 雄貴
受検者さんに最適な検査手技を常に考え、安全で安心な検査を行い、より良い画像を提供できるよう日々努めております。

埼玉医科大学病院ニュース 第75号

発行日 令和4年12月1日
発行責任者 病院長 篠塚 望
編集発行 埼玉医科大学病院 医務部庶務課
TEL 049 (276) 1121 FAX 049 (294) 8222
www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html

